



みぎわ会だより



「やさしい笑顔と 手の温もり
心やすらぐ いこいのみぎわ」

社会福祉法人 みぎわ会

特別養護老人ホーム みぎわ園

TEL. 0795 (22) 1358

軽費老人ホームA型 いずみ寮

TEL. 0795 (27) 0777

ケアハウス ハンナ館

TEL. 0795 (27) 1011

デイサービスセンター ナオミ館

TEL. 0795 (22) 8555

みぎわ園居宅介護支援事業所

在宅介護支援センター

TEL. 0795 (22) 9000

みぎわ園ヘルパーステーション

TEL. 0795 (23) 8931

宗教法人 西脇みぎわ教会

TEL. 0795 (27) 0828

〈 年4回発行 〉

令和6年度 秋号 (第356号)

理事長 來住 壽一

〒677-0064 西脇市八坂町213-1

TEL: 0795-22-1358 (代表)

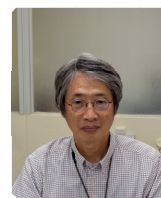
FAX: 0795-22-3749

E-mail: m-care@d7.dion.ne.jp

URL <http://www.migiwa.or.jp/>

『「伝える」ことと「伝わる」こと』

みぎわ園 事務長



文章を書く時には、いつもゼミの課題レポートを提出した時のことを思い出されます。レポートを読まれた教授からは厳しい指導を受けました。

「一つの文が原稿用紙一枚分ぐらいになっており、あまりにも長すぎる。しかも前半と後半で言っていることが真逆になっている。接続詞の『が』が多すぎて、まるでカラスの鳴き声の様にうるさい。君に野坂昭如に張り合う筆力があれば何も言わない。そうでないなら、長い一文は書くな。一つの文には一つの事だけ書きなさい。『が』は多用するな。」

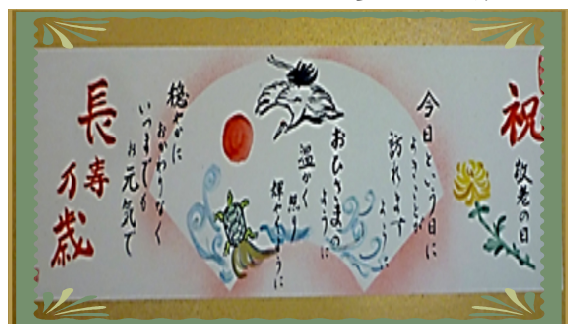
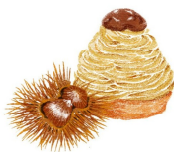
この教えだけは今でもしっかりと守っています。

仕事上の必要から、プログラミングを行う機会が時々あります。その際には、この教授の教えがとても役に立っていると感じています。プログラミングにも様々な作法があります。その一つが「一文一義」です。一文は短く、わかりやすく書く。一つの文には一つのこのみを書くというものです。これによって、わかりやすいプログラムを書くことができます。この方法は教授の教えと同じです。「分かりやすい文章を書く」ための作法は文書作成もプログラミングも同様に思います。

しかし、いくら分かりやすく正確に書いても、プログラムが思い通りに実行されるとは限りません。「命令」の間違いや、考え方の構成そのものに誤りのある場合もあります。機械との繰り返しやり取り（修正）により、ようやく意図通りの実行ができるようになります。「伝える」ことの難しさを実感します。またそれは「伝わる」ことの難しさでもあります。人と機械、人と人とそれぞれの対象は違いますが、両者の溝を埋めるためのコミュニケーションがとても大事になってまいります。

みぎわ園の会議室には「和顔愛語」の扁額が掲げられています。この言葉は、おだやかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接することを意味しています。みぎわ会が大事にしていることを端的に表した言葉のように思います。ご利用者の皆様には暖かく丁寧な言葉で接しております。そして、ご利用者の皆様の表情も穏やかになられています。「伝える」ことが「伝わる」ことに繋がっていると、日々感じています。

夏の暑さからやっとな解放され、穏やかな季節を迎えております。皆様、くれぐれもご自愛ください。



夏祭り みぎわ園



各施設・フロア別に分かれて夏まつりを開催しました。様々なゲームを楽しまれ、おいしいたこ焼きや焼きそばなどを召し上がられています。皆さん存分に夏祭りを楽しんでいる様子でした。

いずみ寮



ハンナ館





～レクリハ活動～

特別養護老人ホーム
みぎわ園



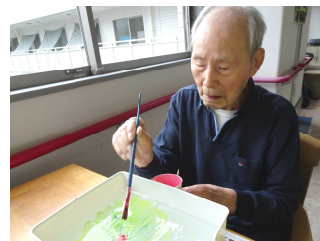
涼風が薫る
風鈴をつくらう!



熱唱カラオケ大会!!



ももパフェ



喫茶みぎわ

今年の夏も、連日うだるような暑さが続き、
わずかな時間の散歩でも溶けそうです。



そこで、真夏の『喫茶みぎわ』は
脳トレや室内ゲームを準備して、
ティータイムと一緒に楽しんでい
ただきました。



食事訓練

急な災害や感染症等により「お食事の提供ができない！」
そんな事態を想定して『食事訓練』を行いました。今回の訓
練では、3つの施設で調理職員以外の職員が、備蓄食の準備～提供までを実践
いたしました。非常事態は起こらないことが何よりですが、備えなくしては
安心な暮らしをおくれません。





夏祭り



今年も夏祭り開催しました！
盆踊りでスタート！
ゲームや屋台の食べ物を楽しみ…
懐かし綿菓子もご自分で作られ
楽しい時間となりました！！



デイサービスセンター
ナオミ館

夏野菜収穫



毎日、沢山収穫が出来
採れた野菜は、
昼食時に頂きました！



みぎわ園居宅介護支援事業所
在宅介護支援センター

一人暮らし食事会

～ 芳田こども園との交流会～



今年から趣向を
凝らして、
これからいろ
んなことが起
りそうです。
楽しみ！



月一回開催の一人暮らしの食事会の様子です。
芳田こども園の年長児童29名との交流会がありました。
7月からプレゼントの作成や、ゲーム内容などみんなで考えいざ本番！
子供達は屈託なくお年寄りの方に寄り添い、自然と笑みがこぼれます。

地域とのつながりは老いても笑顔で
穏やかに過ごせる良薬となり、園児
たちと共にした食事は楽しい雰囲気
もよいおかずになったようです。
29名のうち12名が芳田小学校に
通うとのことで、また会えるね！と
子供たちから声がかかっていました。

ヘルパーほのぼの日記

みぎわ園
ヘルパーステーション

昨冬から訪問が始まったAさん。寒い朝の訪問を以前この日記で紹介しました。その後も元気に一人暮らしを継続。

季節は移り、いつしか山は新緑に覆われ、庭の草木も元気いっぱい。Aさんはそれを見過ごすことはできず、早朝から汗をかきかき草引きし、8時にヘルパーが訪問した時にはサイダー飲んでひと休み、ということも。当然デイサービスに行く気にはならず、ヘルパーと行くや行かないの会話が繰り返されるのですが、それでも最後には「行こうかな」と腰を上げてくださいます。

きっと一生懸命なヘルパーの姿を見てAさんが折れてくださっているのでしょう。

送迎車が来ると「ありがとう、行ってくるわね！」と笑顔で手を振り乗車される姿を見送り、ヘルパーも次の訪問に向かうのです。



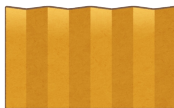
~各施設 敬老長寿の会~

特別養護老人ホーム
みぎわ園



ケアハウス
ハンナ館

敬老会



軽費老人ホーム
いずみ寮



9月16日（月）敬老の日に長寿のお祝いとして、昼食は松花堂でお祝い膳を提供し、お花のプレゼントをお渡ししました。今年度は100歳以上の上寿が10名、百寿が3名、白寿が4名、卒寿が8名、米寿が3名、合計28名のお祝いをいたしました。



七夕短冊の飾りつけ

軽費老人ホーム
いずみ寮



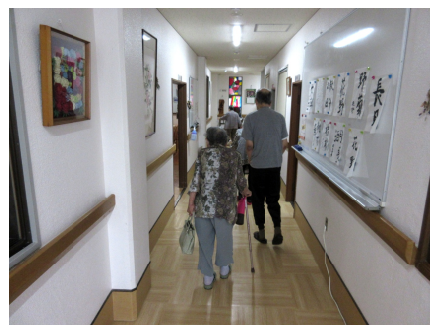
七夕の短冊を利用者の皆さんと一緒に飾り付けました。
一人ひとり願いを込めて書いた短冊を飾っています。

祈祷会



コロナウィルス流行の影響で中止していた祈祷会を再開しました。ほぼ4年ぶりということもあり、たくさんの利用者が参加されました。今後も月1回開催する予定です。

水害想定避難訓練



いずみ寮は河川が近いこともあり、年に1回水害を想定した避難訓練を行っています。皆さん落ち着いて一階から二階へ避難されていました。訓練終了後には水害のビデオを視聴し防災への意識を高めています。

いちご大福



あんこといちごを求肥でくるむと
可愛いいちご大福の出来上がり

お手玉崩し



不安定な土台にハラハラ。
「わー！」と大きな声も



梅とり



大粒の梅をシロップや
甘露煮にしました



柏餅作り

昔懐かしい柏餅づくりは
大人気です。



野外食

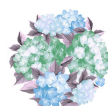


さわやかな木陰でのバーベキューにいつも
以上に食欲あり、皆さん満足そうなお顔です。



—今月のみことば—

「主に任せよ、我が身を」



西脇みぎわ教会

【敬老の日に寄せて】



「敬老の日の礼拝」

9月15日（日）にみぎわ教会にて、「主に任せよ、我が身を」と題しての
敬老の日礼拝が行われ、オンラインでも配信されました。いつも職員の皆様
にお世話になり、ありがとうございます。

♪ 讃美歌291番

- 1、主にまかせよ、我が身を、主は喜び助けません。
忍びて春を待て、雪はとけて 花は咲かん。
嵐にも闇にも ただ任せよ、我が身を。
- 2、主にまかせよ、我が身を、主は喜び助けません。
悩みは強くとも み恵みには 勝つを得じ。
まことなる 主の手に ただ任せよ、我が身を。



「白髪は光栄の冠」
(箴言16：31)

「讃美歌291番」は、みぎわ教会でもよく歌われており、元気と勇気をいただいています。
私達の人生の中で、特に『老年期』においては、体が思うように動かなかったり、不安や恐れで心が弱くなり
がちです。しかし、そのような『嵐や闇、悩みが来た時』こそ、『ただ任せよ、我が身を』と、何も心配しな
いで全てを神様に任せなさい、そうすれば『平安』が与えられますと、歌っています。

「だから、わたしたちは落胆しない。たとい、わたしたちの外なる人は衰えても、内なる人は日ごとに
新しくされていく。」（コリント人への第二の手紙4章16節）

私達は「外なる人は衰え」ても、神様は知恵やその他の祝福をたくさん与えてくださっています。老いた自分
を嘆くのではなく、その弱い自分を受け入れ、御言葉を信じ、希望をもって前向きに歩みましょう。



敬告施設のお食事

いずみ寮



普通食



みぎわ園



ハンナ館



きざみ食



中間食



初任者研修

初任者研修の実習に多可高校から、5名の生徒さんが3日間、基本的な介護技術を学び、ご利用者と関わられました。

インターンシップ（就業体験）では西脇高校から2名の生徒さんが3日間体験されました。この経験を進路選択に活かしていただければと思います。



インターンシップ



学校訪問



将来の人財確保の為、近隣の専門学校へ見学させていただきました。左は学園祭（地域参加型）の様子。右は授業風景となります。（2つの写真は違う学校です）

STAFF

の様子



職員

＜特別養護老人ホーム＞

- ・介護職員
- ・介護福祉士
- ・看護師
- ・介護支援専門員（施設ケアマネ）
- ・事務員

＜デイサービスセンター＞

- ・介護職員
- ・介護福祉士
- ・看護師

＜ヘルパーステーション＞

- ・訪問介護員

勤務時間

雇用形態は
ご相談下さい

募集中!



（編集後記）
今年は、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、とても熱い夏でした。もう秋だというのに、このお便りを作成している頃は、まだ「熱中症警戒アラート」が発令するほど暑さは収まってくれませんが、それでも「食欲の秋」真っ只中で、秋の味覚、ブドウや梨で私の胃袋は満たされています。これからはサンマにカツオ、栗ご飯。スポーツや芸術には縁遠い秋です（笑）。皆様も、美味しい物をしっかり食べて、夏の疲れを吹き飛ばしてくださいね。
川上